

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 元気な介護	代表者	池田 元気
事業所名	小規模多機能型ホーム くらしさ琴似	管理者	渡部 耕子

法人・事業所の特徴	笑顔と感動のある生活。お一人お一人が目標を達成できるようサポートいたします。食事も厨房スタッフが美味しい食事を食べて頂ける様に日々努力しております。思い遣りのある事業所となるよう、これからもスタッフ一同努めて参ります。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	4人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	・職員は、ご家族様と会う機会が少ない為、ご家族の不安等解らない事が多いので共有してほしい。	・ご家族様の面会時の近況を、日々の申し送りや会議時に職員に伝える様にしています。 ・ご家族様やご利用者様からの意見があった時には、申し送りや会議で迅速に共有をした。	・行事などをご家族様も交えて行っては？	・明るい環境づくり、ご家族様との安心して生活できるよう支援をする。
B.事業所のしつらえ・環境	・制作物の掲示や広報誌の配布などを行い地域への関わりを増やす。	・地域へ制作物の掲示は出来なかったが、他事業所に事業所内広報誌の配布を行う事が出来た。	・運営推進会議に、参加する人をもっと増やし、地域の人にくらしさ琴似を解ってもらう事が第一なのは？	・事業所の情報共有の場をもっと行い、広報誌を外部に発信し、ホームでのイベント時、近所に声をかけて交流が出来る様になりたい。
C.事業所と地域のかかわり	・日程を確認し、参加しアピールする	・1人でも多く参加出来る様にし、事業所でも行っていく	・特になし ・近くの老健、同じ介護サービスを提供している事業所と横のつながりを持っては？	・運営推進会議に参加してもらう事を目標にする。
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・担当者会議だけでなく、職員と連携を取り支援センターとの関り等も視野に入れていく	・職員も積極的に支援センターとの関わりを持つ事が出来た。	・町内会が無いのは仕方がない事なので、違う町内会にも参加しては？	・情報の共有を行い、多職種連携を目標とする
E.運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議や運営懇談会に積極的な声掛けを行う。	・他事業所にも声をかけたが、日程が合わず参加には至っていない。	・地域の方との関わりを持つ事が大切です。 ・地域の資源を有効活用しましょう。	・今後も、他事業所に声をかけたり、地域資源へのかかわり方を考える。
F.事業所の防災・災害対策	・計画通りに行う	・計画通りに行えた	・災害の時に、いかに動ける事が大切です。	・計画通りに行い、災害マニュアルを職員にも理解してもらう。